



学びと誇りが実感できるまち ～ 読書する習慣を身につけよう！～

令和6年3月

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

しばらくは花の上なる月夜かな （松尾芭蕉）

最初に、本年度も本市の子供たちなどが全国大会に出場して大活躍していることです。先月末まで、空手道や軟式野球をはじめ、卓球、バレーボール、剣道、スキーなど、21種目に延べ人数60人（小学生6人、中学生16人、高校生19人、学生4人、社会人15人）が全国の舞台で日ごろ鍛えた力を発揮しています。なかには複数の大会に出場している選手もいます。今後も活躍を期待しています。

さて、今回は、読書する習慣をつけ、本をしっかり読もうということです。

本には「力」があります。本を読んで、物の見方や考え方が変わることがあります。本を読んで、人が生き方を変えるということもあります。本を読んで、元気になる力があるとか、笑わせる力、泣かせる力、楽しくする力といったこととは重みが違う力があるということです。本には、深く感動する、強い衝撃を受ける、共感する、反省させられる、考えさせられるなど、人生に影響をもたらす力があります。

本をたくさん読む人は、たくさんの言葉を知り、たくさんの知識をもち、感受性や思考力も豊かになります。自分で感じたことや考えたことを自分の生き方として大事にしますし、他人の考え方も尊重します。悩みや問題があるときに、それを解決しようとする力や前を向いて進もうとする力を培っています。

次の表は、本年度、4月に実施した全国質問紙調査の結果の一部です。「普段、1日当たりどのくらいの時間、読書しますか」という問いです。対象は、小学校第6学年と中学校第3学年です。（％）

質問項目		学校授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）					
		2時間以上	1～2時間	30分～1時間	10分～30分	10分より少ない	全くしない
小学校 第6学年	庄原市	5.7	13.5	18.4	26.1	15.9	20.4
	全国	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5
中学校 第3学年	庄原市	8.3	10.3	14.2	23.0	12.7	30.4
	全国	5.4	8.4	14.6	21.0	13.2	36.8

（合計が100％にならないのは無回答があるため）

先日、バス停で本を読んでいる高校生に出会いました。きっと本を読むことが好きで、いつも読んでいる本がかばんに入っているのでしょう。ちょっとした時間でもこうして本を読む習慣がついている子供たちが増えるといいですね。

時間を見つけて、機会をつくって、本を読む習慣をつけましょう。